

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第4号（果菜類等の灰色かび病・菌核病）を公表しましたので、送付します。

病害虫発生予察 注意報第4号

1 農作物名 トマト、キュウリ、イチゴ、ナス、インゲン

2 病害虫名 灰色かび病、菌核病

3 予報内容

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量

| 作物名  | 灰色かび病 | 菌核病 |
|------|-------|-----|
| トマト  | 多     | 多   |
| キュウリ | -     | 多   |
| イチゴ  | 多     | -   |
| ナス   | 多     | -   |
| インゲン | 多     | 多   |

4 注意報発令の根拠

- (1) 2月下旬の巡回調査において、灰色かび病の発生ほ場率が、トマト、イチゴ、ナス及びインゲンで平年より高かった。特にトマトでは88%（平年：29%）のほ場で発生が確認され、インゲンでは多発ほ場もみられた。
- (2) 同じく巡回調査で、菌核病の発生ほ場率が、トマト、キュウリ及びインゲンで、平年よりも高かった。特にインゲンでは70%（平年：13%）のほ場で発生が確認され中発生ほ場もみられた。
- (3) 天候は、3月後半から曇りや雨の日が多いと予報されており、今後も多発する恐れがある。

表1. 灰色かび病の発生ほ場率(%)

| 作物名      | 本年 | 平年 | 前年 |
|----------|----|----|----|
| トマト(施設)  | 88 | 29 | 6  |
| イチゴ(施設)  | 47 | 22 | 19 |
| ナス(施設)   | 43 | -  | 0  |
| インゲン(施設) | 60 | 8  | 0  |

表2. 菌核病の発生ほ場率(%)

| 作物名      | 本年 | 平年 | 前年 |
|----------|----|----|----|
| トマト(施設)  | 36 | 6  | 12 |
| キュウリ(施設) | 38 | 16 | 8  |
| インゲン(施設) | 70 | 9  | 13 |

5. 防除対策

- (1) 発病した果実や花卉、茎葉等は伝染源になるので、こまめに取り除いてほ場外に持ち出し処分する。
- (2) ハウス内の通風換気に努め、過湿にならないようにする。曇天でもビニールカーテンをできるだけ大きく開けて日射量を多くするなど、湿度低下に努める。
- (3) 発生の多い場合は、くん煙剤は効力が不足するので、散布剤を中心に使用する。
- (4) 薬剤は薬剤耐性菌の出現を避けるため、同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なるものを交互に使用する。
- (5) 薬剤防除のみで十分な防除効果を上げることはできないので、耕種的な対策と併せて総合的な防除に努める。

この情報に関する問い合わせ先 鹿児島県病害虫防除所 電話 099-268-4049

FAX 099-268-3864

ホームページアドレス <http://www.jppn.ne.jp/kagoshima>